

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営				
1. 理念の共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員 一人ひとりから 地域密着サービス施設として理念案を 考えてもらい 話し合っ作りしました		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	一日のケアを開始前に更なる心構えとして朝礼時に唱和する 壁に、掲示し意識づけ		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族へは ホーム便りを発行している		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	集落より離れている為、交流が殆ど無いが、収穫されたものを 御裾分けとして届けてくださる方が増えた（竹の子 ゴウヤ はやと瓜 玉葱）	○	今のお付き合いを 大切に継続していけるよう良い関係を保っていく
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内文化祭への出展 見学にて交流を深めている 隣接の病院や学校からの研修の受け入れもし、外部との交流にも力を入れている。法人全体として 小学校 幼稚園 ボランティアの慰問等で地域との 交流を図っている。		
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実施していない		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全職員に配布し会議までに個別で記入 全員参加で会議をし 外部評価の意義・理解をしてもらえるように取り組んだ		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営協議会の議事録は玄関前に掲示、誰もが閲覧できるようにしている。委員の方からのご意見を地域密着や利用者のサービスの向上へ向けて出来る事から欲張らず取り組んでいる		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着のサービス機関として、ホームで社会参加できることから始めた	○	今後も 出来ることを増やし 積極的に参加していくよう努力していく
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な方にパンフレットを基に 説明をしたが、利用するまでに至らなかった		
11	○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、認知症を理解し高齢者を敬う気持ちと愛情を持って支援することを熟知している。法人で 拘束委員会を設けている。		
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に管理者が家族及び本人と十分な話し合いを持ち理解をしていただき 契約 解約をしている。質問等は無いか確認し 後日でも随時対応し誤解等が生じないように努めている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ミーティングや朝礼等、利用者の様子で異変や不穏を感じ取ったら居室へ行き 不満等をさりげなくききだし 出勤職員と改善策を検討している	○	ホーム独自のアンケートをとっている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回のホーム便り 面会時 緊急時 定期受診で異変等があった時 検査時は同行してただけよう連絡調整 検査結果も同様にしている		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関 事務所ドアに 国保連合会 社会福祉共済会からのポスターを掲示し 重要事項説明書にも「苦情相談機関」小竹気町相談苦情窓口 国保連合会 広域連合鞍手支部を明示し説明している 意見箱も設置しているが、まだご利用はあっていない 又、直接言っただけの雰囲気を作っている	○	ホーム独自のアンケート類を作成し、言いにくい事柄等を意見して頂き 運営反映につなげていきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者は 毎日ホームへ来られ 職員に変わった事など無いか等聞かれ 提案があればその都度聞いてもらい 改善に取り組んでいる 法人全体の運営会議が月1回あり 自由に意見を述べている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	緊急時は連絡網を使い確保し 事前に分かる場合はシフトに組み込まれている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新職員を利用者さんに紹介し 事前に職員には利用者さんの情報提供を行っているため 特に混乱は起こったことはない		
	5. 人材の育成と支援			
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	特に区別はしていない シフト作成前に必ず 希望日記入表を設け 自己実現できるように配慮している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	報道機関で知りえた事柄を 朝礼で話し合いケアの振り返りを行っている		
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修交流会には 案内があれば一人でも多く研修できるよう積極的に取り組んでいる	○	スキルアップの為に 全職員が年1回は研修を受けられるよう いろんな研修を探し受講してもらおうよう取り組んでいきたい
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GHを対象とした 直鞍勉強会へ参加し同業者との交流を図っている。町内にあるGHの集まりが定期的あり 困りごとなどを相談でき 情報交換ができる。		
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間で、お互い何でも話し合える雰囲気がある 毎年、食事会等を設けストレス軽減に努めている		
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の努力や実績 勤務状況等を 考課表を用いて評価し 向上心を高めていけるようにしている		
	II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	頻回に利用者さんと会い信頼関係を築くようにしている (面会の事前に家族には 了解をいただいている)		
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	頻回に家族と会う機会を作り 見学时ホーム内の日常生活や利用者さんの表情等を見ていただき 安心感をもってもらえるよう配慮している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者にとっての、支援の優先順位を見極め、自立支援が出来るよう対応に努めている		
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、家族や病院からの情報収集を行い、その情報を基に御本人と頻回に面会し 顔馴染みなる事で安心感を持ってもらっている 他の利用者も気軽に話しかけられ又職員も馴染まれるまで 常に声かけし 困りごとがないか 見守っている		
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	関わっていく中で、昔話や体験したことなど語っていただき 考え方や知恵をお借りする場面を作るように努め 職員も学びながら支えあっている		
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、必ず近況報告し現状を共有していただき 困りごとは相談を持ちかけ 以前の事を思い出していただきアドバイスをして頂いたり 一緒に支援していく関係作りに努めている		
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御本人と家族とのこれまでの関わり方を伺い、今以上の関係が築いていけるよう 職員も1回でも多く面会に来ていただけるよう支援している		
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	病院が社交場だった方は、継続して受診しお友達との関係が途切れないよう デイサービス利用の経歴の方には お友達の利用日に面会もしくはお連れしたりと 元気な頃と同様に過ごしていただけるよう支援している		
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	体調不良以外は なるべく自室に閉じこもらないよう、孤立しない様配慮し又利用者同士での会話やコミュニケーションが図れるようアンソビリ等、とうして仲間作りを支援している		
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても 近所に行った際には 必ず面会に行き 町で偶然会えばお互いが声をかけ 励まされたり 励ましたりと 家族とも良い関係が継続できている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の要望を伺い可能な限り継続できるようプランに取り入れ支援している		
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前後のアセスメントの中で把握するようにしている 本人が分からない時、家族から情報を収集するよう努めている		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の言動等を観察し、今の生活が本人にとって馴染んでいるか 適しているのか いろんな角度から把握するように努めている		
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	問題が起きた時には、職員・家族に相談し意見や工夫を助言して頂いている その後の経過報告も行っている		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	安定されるまで毎月 その後は3ヵ月毎の見直しを しかし見直しが直ぐ必要な方は勤務者で 今、利用者に最も大切なケアを検討し 状況に応じて対応している 変更となった事柄は、伝達ノートに記載し全職員が理解できるようにしている 病的な時は、主治医のアドバイスをいただきカンファをしている		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に記載していく事で、新たな気づきが発見できたり 経過と評価に役立ち 行動計画の変更に活かしている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、馴染み関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	見物やドライブ 外出 受診 往診の支援 希望されるケア用品購入の為に業者との調整・購入までのアドバイス 心身の状態を緩和する為の他施設紹介等支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	介護相談委員の方の訪問 婦人会の慰問等で知人との再会され 昔話をされ喜んでおられる		
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	同業者へ相談等しているが 他のサービスを利用する支援までの利用者は いらっしゃらない		
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	していない		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望される医療機関へ 定期受診・特変事の受診と 安心して診察していただけるよう支援している		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	本人・家族の同意を得 主治医へ相談し紹介状を持参、家族と共に家族の希望の専門員へ受診する様支援している		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホーム、併設施設にも看護職がいるので いつでも気軽に相談や 気になるときなど直に状態観察をしてもらえる体制である		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時はお見舞いへ行き、不安感を与えないようにしている 早期退院に向けて、(入院計画書)を参考に主治医と話し合い、又退院が決まれば、ホーム生活での注意点等を 主治医 担当看護師等に アドバイスして頂いている		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に ホームの方針を説明し 希望の方には必要時に利用できるよう 調整等を支援している		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	契約時に説明をしている		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご利用者状況情報提供書を作成し、利用者が安心して 住み替えを出来るよう支援している 問い合わせにも、家族の了解を得て 対応している		
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	他の方にわからないよう声かけし、羞恥心を抱かないように努めている、個人記録は、利用者にあまり目に触れない決まった棚に置いている。職員採用時には、個人情報に関する誓約書を取り交わしている		
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	健康に気をつけながら、穏やかな日々を過ごしていけるよう 利用者の目線で説明し納得して頂たき 又 家族にも、利用者の気持ちを伝え家族からの支援も活用している		
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のしたい事、今されている事を 優先にしている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の希望でカットやパーマ・カラーリング・顔そりを 選択していただくように支援しています 行き付けの美容室へ行かれる方もおられます お化粧品を所持されている方へは、するよう促している		
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の意思や 声かけにてお手伝いをしてくださる方と 出来る事を 任せてして頂いたり一緒にしている		
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	健康を損なわないよう 希望に沿った嗜好の支援をしている		
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレで排泄する事の大切さを職員が理解し オムツから紙パンツへ 紙パンツから布パンツになれる事を家族も職員も願っており 出来るだけ 夜間も希望があればトイレを使用する支援をおこなっている		
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個別対応で ゆっくり入浴 日頃聞き出せない話や要望 困っていることなど 上手に聞き出しサービスなどに反映させたり 職員の悩みを話し相談にのってもらったり、コミュニケーションを図る場所となっている		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	特に消灯時間は決めていないが、一人一人のペースで休んでおられ 好きなテレビがあれば終わるまで見ていただいている		
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	好きな事を心ゆくまでしていただく しかし体調や事故にならないよう 見守りや 助言の支援は行っている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持している方も前年度より増え 管理はあくまでもご本人管理としている		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い時や ホーム周りの花 果樹の見ごろは散歩 神社のお祭り 四季の花は外出し レストランで外食が コースとなっている メニューを一通り見て好きな物を選んでもらっている		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の方との外出が極端に少ない為 毎月発行の「たより」に お誘いの声かけしている 個別にもお願ひし 一家族は子供達と過ごす事が出来た		
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望ががあればいつでも支援している		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪者と利用者として自室でお茶を召し上がって ゆっくり居心地良く過ごせるよう支援している 面会時間外でも 気持ちよく受け入れている		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束が何故いけないのか 理解してケアをし法人の拘束委員会の勉強会に参加している		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠はしていない 必要時はセンサーを使用するようにしている		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中利用者さんが過ごされるリビングには、常に一人は必ず居るように決めており 離れるときは声かけ サポートし事故防止に努めている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	裁縫の希望があれば、針の数を確認 必要に応じ見守り 一部介助等行う 保管場所も指定しているハサミ 包丁も 同様		
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作成している 事故を未然に防ぐ事の重要性を周知徹底に努めている		
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	併設施設にADEを設置している 緊急対応時のマニュアルを作成している 救命救急講習は全員受講している 4月にも 法人で講習が行われ参加した		
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼間帯・夜間帯と年2回避難訓練をしている 出火場所設定によって 避難通路・場所を職員で判断し安全に敏速に誘導・点呼するを身につけるようにしている	○	地震 水害の対応策も法人で取り組むよう運営会議で取り上げ検討をしたい
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族に予測されるリスクについては 説明をし理解をしていただいている 出きる限り威圧感の無い暮らしを支援していくよう 家族と話し合いながら行っている		
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェックと夜勤報告で異変や体調の変化に逸早く気づき 看護師の指示を仰いだり状況に応じて 受診をしている。又逸早く知る為には日頃の状態を観察する事の大切さも理解している		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルポケットに 薬局から配布される 作用副作用表をいれ 誰でも確認出来る。処方箋変更があれば伝達日誌に記載 一日分を各自の投薬ポケットに準備 毎回名前を記入し確認 服薬介助時も再度確認するよう努めている		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックを毎朝確認 水分補給の声かけ 散歩 身体使ったアソビ等を取り入れ 運動不足にならないよう工夫している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後必ず 特に夕食後のケアは、義歯を洗っていない方はお手伝いし 口臭等に気をつけている 全て自分の歯の方は 大切にさせていただきたいので 本人も希望され月1回 検診を兼ねて受診し健康な歯で美味しく食べられる様支援している		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	口腔内の状況等考慮し 副食を 刻み 粗刻み ところろみを付けたり全量摂取していただけるよう支援している お粥を希望される方にも軟らかさの加減も聞いて提供している		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種は全職員・利用者 次亜塩素酸での拭き掃除「床 手摺 棚 トイレ」 ホーム内の換気・室温・湿度の調整 手洗い・嗽の徹底 血液・軟膏塗布はゴム手着用		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアル作成し 毎日チェックし確実に実行する仕組みになっている		
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には季節の花を植え ベンチを設置天気の良い時は 玄関引き戸を開け放している		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内のに不快な臭いが漂う事の無い様に換気を 埃等の無い様清掃を行い 清潔で落ち着いた過ごせるよう整理整頓をし空間づくりを行っている。玄関 トイレ 洗面所 テレビボード等に四季の草花飾って季節感を感じられる様にしている。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、ソファを増やし皆さんで お喋り等自由に過ごせる様に 玄関前にも ベンチを2脚設置いつでも気分転換等にご利用出きる様工夫している		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時は勿論、生活していく中で、ご本人さんが、思い出されたり ご家族が気づかれた時など 馴染みのある品を 持って来ていただいている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	掃除時 利用者がリビングで過ごされている時など 了解を得て空気の入れ替えと 温度計湿度計を見ながら 空調の調節や加湿器を使用しながら 室温を25℃前後に保つように心掛けている		
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内の床は、全て衝撃吸収材を使用し フラットで 車椅子 歩行器 シルバーカーの方でも 安全で自由に移動が出来き 車椅子のまま入室出来るトイレもあり 歩行できる方も安全の為 手摺を設置している		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の力に応じ見守りで 又一部お手伝いしたりと 達成感や 意欲を持って生活していただけるよう工夫している		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭で、おやつを食べたり 合唱をしたりしている散歩の途中でもベンチが あれば 皆さんで楽しめるよう 工夫している		

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○印をつける)
v サービスの成果に関する項目		
90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	《 》①ほぼ全ての利用者の 《 ○ 》②利用者の2/3くらいの 《 》③利用者の1/3くらいの 《 》④ほとんど掴んでいない
91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	《 ○ 》①毎日ある 《 》②数日に1回程度ある 《 》③たまにある 《 》④ほとんどない
92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 ○ 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	《 ○ 》①ほぼ全ての家族と 《 》②家族の2/3くらいと 《 》③家族の1/3くらいと 《 》④ほとんどできていない
98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	《 》①ほぼ毎日のように 《 》②数日に1回程度 《 ○ 》③たまに 《 》④ほとんどない
99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	《 》①大いに増えている 《 ○ 》②少しずつ増えている 《 》③あまり増えていない 《 》④全くいない
100	○職員は、生き活きと働けている	《 ○ 》①ほぼ全ての職員が 《 》②職員の2/3くらいが 《 》③職員の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	《 ○ 》①ほぼ全ての家族等が 《 》②家族等の2/3くらいが 《 》③家族等の1/3くらいが 《 》④ほとんどできていない